

環境にやさしい交通

環境問題が地球規模の課題となる中、バスやシェアサイクルなどが、身近で環境にやさしい交通手段として注目を集めています。県民みんなでもっと利用しませんか！



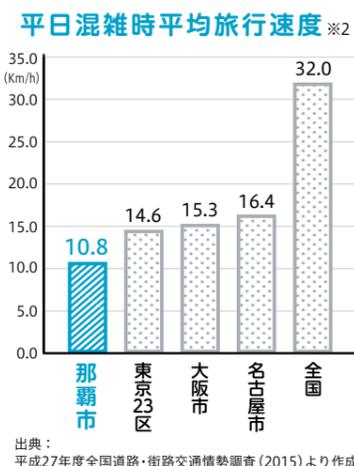
今号の表紙
バスの積極的な利用が、渋滞緩和やCO₂排出量の削減などの環境にやさしいライフスタイルの実践（SDGsの行動）につながります。

車社会沖縄の現状って？



県民一人あたりの渋滞損失時間は約47時間／年

国内でも有数の車社会といわれる沖縄県。2021年8月現在、県内にはおよそ118万台の車が走っていて、一世帯あたり1.3台の車を所有している計算になります。そして、県民を悩ませているのが、朝・夕のラッシュ時の渋滞。特に人口の多い那覇市、浦添市、沖縄市の渋滞は激しく、東京、名古屋、大阪など



※1：渋滞損失時間とは、本来、有効に使えたはずなのに、渋滞によって失われた時間を示す。
※2：旅行速度とは、区間の走行距離を、走行するのに要した時間で除した値。

環境にやさしい交通手段って何があるの？

シェアサイクルなら渋滞ナシでCO₂削減に貢献

那覇市を中心に利用が広がっているシェアサイクル。自転車を共同利用するもので、2021年8月現在、本島中南部を中心に約150カ所の駐輪拠点（ステーション）があり、約400台が稼働しています。当初は、自転車で乗り慣れている観光客を中心に利用されていたようですが、借りた場所と違う場所で返却できること、またコロナ禍で移動中の「密」を避けたいという理由から、県民の利用率もアップしてきているそうです。

県内にはいくつかの事業所がありますが、観光立県・沖縄の交通渋滞という社会課題に直面してシェアサイクル事業を立ち上げたのが「CYCY（サイサイ）」です。ICTを活用し、地域に根ざしたシェアサイクル事業を行うことで、交通渋滞緩和にも貢献し、さらには移動利便性向上による地域振興にもつながることを目指しています。

路線バスって使いづらいのでは？

利用者の利便性を考慮した見直しに取り組んでいます！



県内での取り組みを紹介

ノンステップバスでらくらく
段差が地面から30センチだから乗り降りがスムーズ。お年寄りや小さな子どもにも優しいバスです。乗降口にスロープ板を取り付ければ、車いすでの乗り降りも可能です。



自家用車に過度に頼るのではなく、もっとバスを使ってもらおうと2012年から取り組みを開始した「わった〜バス党」。路線バスを利用しやすくするために、段差を低くしたノンステップバスや簡単に運賃の支払いができる交通系ICカード「OKICA（オキカ）」の導入、屋根を設置するなどのバス停のグレードアップ、路線バス検索サイト「のりものNAVI Okinawa」の開設などを行っています。

また、定時性を向上させる取り組みでは、バスレーンの区間延長や停車バス停を限定してスピーディーに移動できる基幹急行バスの運行などがあります。

より多くの人がバスをはじめとする公共交通を利用すれば、渋滞が緩和でき、CO₂を減らすことができます。

ICカードでスムーズに

カードリーダーにOKICAをかざすだけ。小銭を準備しなくてもOKです。毎月の利用額に応じてポイントが付与され、貯まったポイントはカード内のチャージ金として利用できます。



バス利用いろいろ工夫

各地域でも様々な取り組みが行われ、南城市では、新たに市内線「Nバス」の運行、路線バスや運賃体系の見直し等を実施。また、Nバスの現在地が分かるバスロケーションシステムを導入したことで利用者が大幅に増加。県内初となる「地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰」を受賞しました。



スピーディーに沖縄の拠点を結ぶ基幹急行バス



シンプル・モダンなデザイン・Nバス

わった〜バス党
(沖縄のバスの10年)
<https://www.watta-bus.com/>



CYCY(サイサイ)
<https://www.protosolution.co.jp/cycy/>



私にもできるSDGs

小さな行動で渋滞やCO₂を減らせます



宅配便の再配達削減

発進のアクセルはふんわり



近所のコンビニには徒歩で



沖縄県立病院では薬剤師を募集しています！
職務経験3年以上の方は随時募集中 問い合わせ 098-866-2832



沖縄県立病院では薬剤師を募集しています！
職務経験3年以上の方は随時募集中 問い合わせ 098-866-2832

